
僕と旅と旅人の書いた旅人

桂夕貴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と旅と旅人の書いた旅人

【Nコード】

N4937B

【作者名】

桂夕貴

【あらすじ】

詩のような小説のような。不思議に優しい話。

旅をしながら本を書こう。

しっているかい？

君は君の人生という

短いストーリー、そう、小説だ。

その中の主人公。でも、

僕という主人公から見れば

君は脇役。あ、でも

僕の親友とか、たくさん関わるなら

せいぜいサブキャラってところか。

無論、逆もありだ。

僕はその、僕の話面白くするために
旅をしている…

そんな小説を書いてみた。

旅人…なんて自由で、孤独で、

楽しくて、さびしい。

僕が作り出した彼は旅をしている。

彼は僕に動かされてる。

そうとも知らずに、
自分の旅を本にしている。
その旅人は、僕と同じで
別の旅人を書いている。

それは憧れ。
それは逃げ。

僕が僕から逃げるための。

ぼくのつまらない人生という小説を
憧れでごまかして、逃げるんだ。

彼は本を書いている。

彼は僕に書かされている。

僕は本を書いている。

僕は僕に書かされている。

そしてそれは僕という物語。

＋奥付＋

これはメルマガにもHPにも

載せた作品です。

自分って、知らない内に
いろいろな時間を過ごしている。
その動作や感情を逐一書いていったなら、
本にしたら。

その本は自分の体より大きくなってしまう。
それをこの地球の生き物全て分作ると。

無理ですね。

だから生き物は凄い。

時を閉じ込める器と共に朽ち果てて

最初から無かったかのように横たわる。

だから今という時は宝物なんです。

2007／2／6

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4937b/>

僕と旅と旅人の書いた旅人

2011年10月3日19時21分発行